令和７年度　学校だより

# つなぐ

翠輝学園 つくば市立
みどりの南小学校
第２０号
発行日　R7．7．31

## 保護者ボランティアのおかげで手縫いが上達！

### ５年　家庭科

７月８日(火)・９日(水)・15 日(火)・16 日(水)の４日間、５年生の家庭科の授業において、保護者ボランティアの皆様にご協力いただき、無事に“**裁縫**”の学習を実施することができました。

５年生が初めて行う「衣生活」(衣食住の“衣”)の授業。**手縫い**の知識と技能を学びました。各学級、２日間４時間の授業の中で、なみ縫い，返し縫い、かがり縫いに挑戦。授業は 高木 則子 先生（南中学校の家庭科専門）が教科担任として担当していますが、すべての児童にきめ細かな対応をすることは難しいのが現状です。今回、各学級へ７・８名の保護者の方に支援していただくことができました。保護者の方は、児童の様子をよく見て、困っている子に的確なアドバイスをされており、素晴らしい支援でした。お陰様で、すべての児童が基礎を身に付けることができました。

今回の授業では、２時間続きの授業６回で、**延べ４６名の保護者の皆様**（祖母の方も参加）にお世話になり、大変充実した授業となりました。保護者の方からは「子供たちが一生懸命やるので、楽しかった」と笑顔でご報告をいただきました。皆様のご協力に大変感謝しております。本当にありがとうございました。

今後、**９月にも**ボタン付け、小物作りで**ボランティアのご協力をお願いする予定**です。その際はよろしくお願いいたします。

縫い方の動画も参考に(1 組 7/8)

児童の作業を見守りながら(3 組 7/16)

## みなみトピックス　　これまでの話題から

### 「破れていました。僕が縫っておきました。」　６年生 実生活で学びを活かす

７月 16 日(水)、６年生の児童が「旗」をもって職員室の教頭先生のところに来ました。その児童は「旗が破れていました」と話した後、「僕が縫っておきました」と言って旗を渡してくれました。破れの報告だけでなく、そのままにせず、児童が自ら縫って補修してくれたことに、大変感心しました。この児童は旗の掲揚の担当ではないのですが、破れに気付き、繕ってくれたようです。**授業で学んだ、返し縫いやかがり縫いの知識と技能を、実生活の中で活用したことは素晴らしいこと**です。家庭科に限らず、多くの児童が学んだことを実生活の様々な場面で活かしてほしいと思います。**学んだ意味が実感できた**と思いました。

## みなみ掲示板

**【学校アンケートのご協力に感謝！　まだの方は 8/10 までに（期限延長）】**

７月 14 日配信「**学校教育に関するアンケート**」にご協力いただき、**ありがとうございました。**今回いただいた回答結果は、後日、保護者の皆様にもご報告させていただくとともに、「コミュニティ・スクール推進会議」※や「すいハピ事務局」でも共有させていただき、子供たちのよりよい成長やよりよい学校の在り方のために検討を進めていければと考えております。(※コミュニティ・スクール推進会議については後日掲載)　なお、まだご回答いただいていない保護者の方は、**回答期限を８月 10 日(日)まで２週間延長**いたしましたので、ご回答をお願いいたします。